



■特集 **korekara** 読者モニターのみなさんと、考えました。

「好きになるまちって、どうつくるの？」



まちづくりって、一言でいっても、何となくぼんやりとしてわかりづらい！
自分がいつも暮らしているまちを、もっと好きなまちにするには、どうしたらいいの？
そこで、身近にできるまちづくりについて、読者モニターさんとディスカッションをしてみました。

「まずは、
まちを知ることが、
“好き”につながる」

「korekara」は、身近なまちづくりの情報をカジュアルに、親しみやすくお伝えすることを目指し、読者モニターさんからのアンケートなどを参考に編集しています。

今号では、企画の段階から携わっていたきたいと考え、読者モニターさんに集まっていたいただきました。

「漠然としてわかりづらい」「まちづくり」の話ですが、あまり難しく考えず、「好きなまちをつくる」をテーマにみんなで意見交換。話し合ってみると、意外と自分のまちについて知らないことに気づき、「実際にまちづくりに携わっている方に話を聞こう！」ということになりました。

1 さいたま市ってどんな印象？

- 穏やかで、落ち着いているので住みやすい。
- 緑が多い。駅前にも花が咲いている。
- 都会と自然が、程よく共存している。
- まちなかは、ちょっと窮屈な感じがする。
- ずっと住んでいるわりに、周りのまちのことをあまり知らないかもしれない。

2 まちをもっと好きになるためには？

- 公園やイベント、ちょっとしたスポットとかなって楽しみたい！
- まず身近なまちを知ることが大切なので、楽しい情報や役立つ情報がほしい。
- いろんな情報を紹介し合えれば、新たな興味や発見、好きにつながるかも。

3 自分たちでできるまちづくりって？

- 道路をつくるとか、役所がするイメージ？
- 実際に自分でできることって、「ミミ拾いとかしか浮かばないかも…」。
- そもそも、何から始めたらいいかわからない。
- 実際にまちを良くする活動をしている人に話を聞いたら、ヒントがあるのかも？

まちづくりって、
実はよく
わからないんですけど…？

ディスカッションの結果…

「まちづくりに関わっている人に話を聞いて紹介することが、まちに興味を持ち、“好き”になるきっかけになるのでは？」

そこで、緑を増やすという身近にできる取り組みに着目して、生け垣を育てている方を実際に訪ねてみることにしました。

← 次ページで、読者モニターさんの取材をご紹介します！

今回参加いただいた **korekara** 読者モニターの みなさん

あさの めぐみ
浅野 恵さん(西区)

以前の誌面で、私が七五三でお世話になった神社が載っていて、すごく共感し懐かしさを覚えてお便りを出したことがきっかけです。

いりやま きよこ
飯山 清子さん(西区)

編集会議や取材など、誌面づくりに携わることで、いろいろなことが体験できて楽しそうだと感じ、今回参加しました。

おおにし まさこ
大西 満樹子さん(浦和区)

第8号「景観」の企画が印象的でした。このさいたま市の良いところを市民の方に伝えて、より住みやすいまちにしていきたいです。

ささき みつるさん(北区)

読者モニターを続けていますが、市民と行政の協働の取り組みが少しずつ理解でき、皆ともしっかり話したいと思い、参加しました。

ちば ゆみ
千葉 諭美さん(浦和区)

図書館で「korekara」を見たとき、「こんなオシャレなものがあったんだ！」と驚きました。地元で楽しいことをしたいと思っています。

むらやま あや
村山 綾さん(浦和区)

市外から越して間もないですが、ちょっとした空間にも花が咲き、公園もきれいなさいたま市のまちづくりに関わりたいと思いました。

やまの としあき
山野 敏明さん(桜区)

さいたま市は美しい自然と都会の活力、伝統と近代とが交り合った素晴らしいまちであると感じ、私も何か役に立てればと思いました。